

塩販売見込数量等報告書記載要領(塩特定販売業者用)

1. 報告書全般について

(1)	4月1日～3月31日の製造・販売数量を記載してください。 販売数量は、製品等の受渡しが終了しているものについてのみ記載してください。
(2)	数量はトン単位で記載してください。
(3)	1トン未満の数量は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを記載してください。
(4)	小数点第2位以下を四捨五入した結果、数量が「0.0」となる場合は、「0.0」と記載してください。
(5)	見込(実績)が全く無い場合は、空欄としてください。
(6)	「その他」に数量を記載した場合は、『「その他」の内容を記載⇒』に具体的な内容を記載してください。内容が複数ある場合は、「その他」に全ての内容の数量の合計を記載し、『「その他」の内容を記載⇒』に内容ごとの数量を記載してください。
(7)	黄色に着色されているセルにのみ記載できます。ただし、『「その他」の内容を記載⇒』のセルだけは、「その他」に数値が記載されており、かつ『「その他」の内容を記載⇒』が空白の場合に限って黄色く着色されます。
(8)	着色されていないセルは合計値などが自動的に記載されるように設定されています。編集しないでください。
(9)	シート「別紙様式3」に記載した①日付、②報告対象の年度、③提出先税関名、④登録番号、⑤事業者名の5項目は、記載内容が他のシートに反映されます。そのため、「別紙様式3」に記載する実績がない場合であっても、①～⑤の項目は記載してください。他の実績のないシートについては何も記載せず、シートの削除をしないでください。
(10)	原産国が6か国以上に及ぶときは、ファイルを2つ作成し、2つ目のファイルに6か国目以降の実績を記載してください。
(11)	作成に当たっては、【付表2⇒付表3⇒別紙様式3⇒付表1⇒付表4】の順で作成することをお勧めいたします。

2. 別紙様式3及び付表2について(記載要領1参照)

(1)	関税有税品と関税無税品でそれぞれ別々のシートに記載してください。実績や見込みのないものについては作成する必要はありません。ただし、「1. 報告書全般について(9)」にも記載のとおり、関税有税品の実績がない場合でも日付・報告する年度・提出先税関名・登録番号・事業者名だけは記載してください。総計のシートについては、自動的に関税有税品のシートと関税無税品のシートの数量を合算して作成されます。
(2)	別紙様式3の「消費者への販売分」又は「自己使用見込数量」に数量を記載する場合は、付表1に内訳を記載してください。付表1に内訳を記載することで、別紙様式3に反映されます。
(3)	付表2の「消費者への販売分」又は「自己使用見込数量」に数量を記載する場合は、付表3に内訳を記載してください。付表3に内訳を記載することで、付表2に反映されます。
(4)	付表2の「7年度末在庫見込数量」と別紙様式3の「7年度末在庫見込数量」の数量を一致させてください。

(5)	当該年度に製造等の見込がない場合であっても、在庫がある場合は、在庫数量欄及び在庫見込数量欄に数量を必ず記載してください。																																				
(6)	<p>原産国を記入するセルの位置は、関税有税品・関税無税品・総計の3シートで一致するようにしてください。</p> <p>例：関税有税塩をアメリカ・メキシコ・オーストラリアから輸入し、関税無税塩を中国・メキシコ・インドから輸入した場合 関税有税品の原産国記入欄の左端からアメリカ(E列)・メキシコ(F列)・オーストラリア(G列)の順に記載するときは、無税塩の原産国記入欄のF列にメキシコ、H列に中国、I列にインドと記載し、総計のシートの原産国欄は左端からアメリカ(E列)→メキシコ(F列)→オーストラリア(G列)→中国(H列)→インド(I列)と記載してください。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><th></th><th>E列</th><th>F列</th><th>G列</th><th>H列</th><th>I列</th></tr> <tr><td>原産国</td><td>アメリカ</td><td>メキシコ</td><td>オーストラリア</td><td></td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th></th><th>E列</th><th>F列</th><th>G列</th><th>H列</th><th>I列</th></tr> <tr><td>原産国</td><td></td><td></td><td>メキシコ</td><td></td><td>中国</td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><th></th><th>E列</th><th>F列</th><th>G列</th><th>H列</th><th>I列</th></tr> <tr><td>原産国</td><td>アメリカ</td><td>メキシコ</td><td>オーストラリア</td><td>中国</td><td>インド</td></tr> </table> </div>		E列	F列	G列	H列	I列	原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア				E列	F列	G列	H列	I列	原産国			メキシコ		中国		E列	F列	G列	H列	I列	原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア	中国	インド
	E列	F列	G列	H列	I列																																
原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア																																		
	E列	F列	G列	H列	I列																																
原産国			メキシコ		中国																																
	E列	F列	G列	H列	I列																																
原産国	アメリカ	メキシコ	オーストラリア	中国	インド																																

3. 付表1及び付表3について(記載要領2参照)

(1)	付表1及び付表3の原産国を記入するセルは、別紙様式3及び付表2と以下のように一致させてください。
	<input type="radio"/> 付表1又は付表3(1枚目)の左端(C～E列)→別紙様式3又は付表2のE列 <input type="radio"/> 付表1又は付表3(1枚目)の中央(F～H列)→別紙様式3又は付表2のF列 <input type="radio"/> 付表1又は付表3(1枚目)の右端(I～K列)→別紙様式3又は付表2のG列 <input type="radio"/> 付表1又は付表3(2枚目)の左端(C～E列)→別紙様式3又は付表2のH列 <input type="radio"/> 付表1又は付表3(2枚目)の中央(F～H列)→別紙様式3又は付表2のI列
(2)	食品工業用、工業用、その他で「その他」に記載した場合は、下段の『「その他」の内容を記載⇒』に具体的な内容を記載してください。

↓次ページに続く

4. 付表4について

付表2に記載した令和7年度の実績見込数量と令和6年度の実績数量を比較して1,000トン以上の差異がある場合は、その要因として考えられるものを、「考えられる理由（傾向）」に必ず記載してください。

また、「8年度見通し」は必ず記載してください。増加・横ばい・減少のうち該当する項目をチェックし、その理由も記載してください。

記載要領 1(別紙様式3及び付表2)

区分		記載要領																																				
○ 年度末在庫(見込)数量		輸入した塩のうち、当該年度の前年度末に在庫となる(見込)数量を記載する。																																				
○ 年度受入(実績)見込数量		当該年度において、一般用塩として輸入する見込数量を記載する。																																				
○年度販売見込数量		<p>塩卸売業者への販売分 当該年度において塩卸売業者に販売する見込数量を記載する。</p> <p>塩製造業者への販売分 当該年度における塩製造業者に販売する見込数量を記載する。</p> <p>塩事業センターへの販売分 当該年度における塩事業センターに販売する見込数量を記載する。</p> <p>消費者への販売分(小売店への販売も含む) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">生 活 用</td> <td>主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費される見込数量。 付表1又は付表3の「生活用」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>食 品 工 業 用</td> <td>食品工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「食品工業用」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工 業 用</td> <td>工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「工業用」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソーダ工業用</td> <td>ソーダ工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「ソーダ工業用」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>融 氷 雪 用</td> <td>融冰雪用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「融冰雪用」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そ の 他</td> <td>上記の区分に当てはまらないものの数量。付表1又は付表3の「その他」の数量が反映される。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td>付表1又は付表3の合計と一致させる。</td> </tr> </table> </p> <p>その他の販売 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">輸 出</td> <td>上記の販売先以外で輸出・減耗・その他に該当するものの見込数量を記載する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減 耗</td> <td>また、「その他」に記載した場合は下段の「他の内容を記載⇒」に内容を記載する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そ の 他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他の内容を記載⇒</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td></td> </tr> </table> </p> <p>○ 年度自己使用見込数量 当該年度において、自己使用する場合は付表1又は付表3を作成する。各付表の合計数量が反映される。</p> <p>○年度末在庫見込数量 輸入する塩のうち、当該年度末に在庫となる見込数量。当該年度の受入数量と前年度末の在庫数量の合計から当該年度の販売数量と自己使用数量を引いた数量が自動的に記載される。</p>		生 活 用	主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費される見込数量。 付表1又は付表3の「生活用」の数量が反映される。		食 品 工 業 用	食品工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「食品工業用」の数量が反映される。		工 業 用	工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「工業用」の数量が反映される。		ソーダ工業用	ソーダ工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「ソーダ工業用」の数量が反映される。		融 氷 雪 用	融冰雪用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「融冰雪用」の数量が反映される。		そ の 他	上記の区分に当てはまらないものの数量。付表1又は付表3の「その他」の数量が反映される。		合 計	付表1又は付表3の合計と一致させる。		輸 出	上記の販売先以外で輸出・減耗・その他に該当するものの見込数量を記載する。		減 耗	また、「その他」に記載した場合は下段の「他の内容を記載⇒」に内容を記載する。		そ の 他			その他の内容を記載⇒			合 計	
	生 活 用	主に小売店を通じて販売され、一般家庭及び生業用に消費される見込数量。 付表1又は付表3の「生活用」の数量が反映される。																																				
	食 品 工 業 用	食品工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「食品工業用」の数量が反映される。																																				
	工 業 用	工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「工業用」の数量が反映される。																																				
	ソーダ工業用	ソーダ工業用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「ソーダ工業用」の数量が反映される。																																				
	融 氷 雪 用	融冰雪用として直接販売する見込数量。付表1又は付表3の「融冰雪用」の数量が反映される。																																				
	そ の 他	上記の区分に当てはまらないものの数量。付表1又は付表3の「その他」の数量が反映される。																																				
	合 計	付表1又は付表3の合計と一致させる。																																				
	輸 出	上記の販売先以外で輸出・減耗・その他に該当するものの見込数量を記載する。																																				
	減 耗	また、「その他」に記載した場合は下段の「他の内容を記載⇒」に内容を記載する。																																				
	そ の 他																																					
	その他の内容を記載⇒																																					
	合 計																																					

記載要領 2 (付表 1 及び付表 3)

○下記の表の内容を参考に記載する。

区分	内容(例)
生 活 用	家庭用及び飲食店等(生業用)において使用されるもの
食 品 工 業 用	(食品工業用に消費されるもの)
漬 物	
み そ	
醤 油 ア ミ ノ 酸	
水 産	漁獲物塩蔵用、塩干魚類製造用、遠洋沿岸捕鯨用、魚類鮮度保持、切こんぶ等海水産物一次加工用
調 味	ソース、食酢、マヨネーズ、ケチャップ、化学調味用原料塩、特殊用塩(食用以外は除く)
麵 類	うどん、そば、マカロニ、スパゲティ、即席めん
パン・菓子類	パン類、菓子類、パン粉、落花生
加 工 食 品	乳製品(バター、チーズ、マーガリン、ミルク、カルピス)、肉製品(ハム、ベーコン、ソーセージ)、練製品(かまぼこ、はんぺん、ちくわ、生揚、なんば焼)、つくだ煮(つくだ煮、支那竹の加工)、びん詰・缶詰(肉製品、海水産物、果実、野菜等のびん詰・缶詰) その他食品(カレーの素、スープの素、珍味加工、チャーハンの素等上記に属さない食品加工用)、ソーセージの皮、浅漬けの素等
そ の 他 食 品 工 業	食料用で上記に属さないもの
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載
工 業 用	(工業用に消費されるもの)
染 料 ・ 顔 料	合成染料、染料中間体、ハイドロサルファイト、人工色素、顔料、ベンガラ、塩化亜鉛
化 学 薬 品	珪沸化ソーダ、塩素酸ソーダ、除草剤、青化石炭、代用甘味、その他化学薬品(試薬塩含む)
皮 革	獸魚皮のなめし用、保存用
油 脂	石けん、ロート油、乳化油、洗剤
イオン交換剤再生	砂糖の精製、硬水軟化、製紙・パルプ等のイオン交換剤再生用
そ の 他 工 業 用	工業用で上記に属さないもの(香料、冷却用、合成ゴム、火薬、窯業、鉱業、染色等)
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載
ソ ー ダ 工 業 用	
融 水 雪 用	グラウンド、コート、融冰雪、道路等の塩処理用
家 畜 用	飼料として家畜に使用されるもの(家畜、家禽の栄養剤、鉱塩を含む)
医 薬 用	局方塩、浴用塩を含む
そ の 他	食料用、工業用、ソーダ工業用、融冰雪用、家畜用、医薬用等に属さないもの(教材、研究用、試験用、農業用等)
その他の内容を記載⇒	「その他」の内訳を記載

<記載例>

令和8年度 塩販売見込数量等報告書				登録番号は送付封筒宛名に印字されております。	
エクセル入力の注意事項				京税関長第〇〇〇号	
黄色セルのみ入力。シートは削除しないでください。数量ゼロは空欄				株式会社カスタム	
プルダウンリスト設置場所(※在庫、見込がない場合)				(単位:トン)	
〔種類: 関税有税品〕					
科目	原産国	イタリア		合計	
7年度末在庫見込数量	①	8.8	別紙様式3付表2の一番下の欄(令和7年度末在庫見込数量)を記載。	8.8	
8年度受入見込数量	②	0.5	「受入」見込数量とは、ここでは輸入見込数量を指します。	0.5	
8年度販売見込数量	塩卸売業者への販売分				
	塩製造業者への販売分			※この様式には、別紙様式3付表2~4に記載いただいた情報に基づき、令和8年度(2026.04.01~2027.03.31)に見込まれる輸入販売数量を記載してください。	
	塩事業センターへの販売分			※令和7年度末の在庫見込や、令和7・8年度の輸入見込がない場合は、様式3及び付表2を空欄で提出してください。	
	消費者への販売分 (小売店への販売も含む) ⇒内訳を別紙様式3付表1へ	一般消費者(生活用)		0.0	0.0
		業務用消費者	食品工業用	0.0	
			工業用		
			ソーダ工業用		
			融氷雪用		
	その他			令和8年度(2026.04.01~2027.03.31)において「消費者(小売店)への販売分」が見込まれる場合に記載。内訳を別紙様式3付表1に記載。 (エクセル入力の場合、付表1の数字が反映されるため、ここへの入力は不要。)	
	計		0.0		
その他	輸出				
	減耗				
	その他			令和8年度(2026.04.01~2027.03.31)において自己使用が見込まれる場合に記載。内訳を別紙様式3付表1に記載。(エクセル入力の場合、付表1の数字が反映されるため、ここへの入力は不要。)	
	「その他」の内容を記載⇒				
合計		③ 0.0	「8年度末在庫見込数量」は、「①7年度末在庫見込数量+②8年度受入見込数量-③8年度販売見込数量の合計-④8年度自己使用見込数量」によって算出された数値になります。(エクセル入力の場合、付表1の数字が反映されるため、ここへの入力は不要。)	0.0	
8年度自己使用見込数量 ⇒内訳を別紙様式3付表1へ		④ 0.5		0.5	
8年度末在庫見込数量		8.8		8.8	

- (備考)
- 種類は、「関税有税品」(例:精製塩等)、「関税無税品」(例:原塩等)及び「総計」ごとに別葉とする。
 - トン未満はすべて小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載すること。
 - 「消費者への販売分」又は「8年度自己使用見込数量」がある場合は、別紙様式3付表1にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

<記載例>

令和7年12月1日

令和8年度 用途別販売見込数量内訳

消費者への販売分（小売店への販売を含む）
8年度自己使用見込数量

「消費者への販売分」について記載する場合。

登録番号 東京税関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名 株式会社カスタム

東京税関長 殿

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式3と同様とすること。

(単位:トン)

原産国	イタリア									合計			
	種類	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生活用	漬物	関税有税品、関税無税品ごとに記載。											
食品工業用	みそ												
	醤油アミノ酸												
	水産												
	調味	0.0											
	麵類												
	パン・菓子	50kg未満見込みがある場合、空欄ではなく「0.0」と記載してください。											
	加工食品												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計	0.0											
工業用	染料・顔料												
	化学薬品	別紙様式3（業務用消費者・食品工業用）と同じ数になっているか確認してください。											
	皮革												
	油脂												
	イオン交換剤												
	その他	別紙様式3（業務用消費者・工業用）と同じ数になっているか確認してください。											
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
ソーダ工業用													
融氷雪用													
その他	家畜用	別紙様式3（その他）と同じ数になっているか確認してください。											
	医薬用												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
	合計	0.0	別紙様式3の「消費者（小売店）への販売分」の計と同じ数になっているか確認してください。										

※ 記載要領で各区分に含まれる品物を
例示していますので、ご参照ください。

1トン=1,000kg。小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載。40kgの場合は0.0 (40kg=0.04トン→小数点以下第2位を四捨五入→0.0)、50kgの場合は0.1となります。

<記載例>

令和7年12月1日

令和8年度 用途別販売見込数量内訳

消費者への販売分（小売店への販売を含む）
8年度自己使用見込数量

登録番号 東京税関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名 株式会社カスタム

東京税関長 殿

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式3と同様とすること。

(単位:トン)

原産国	イタリア									合計		
種類	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生 活 用												
食品工業用	漬物	0.5	0.5									0.5
	みそ											
	醤油アミノ酸											
	水産											
	調味											
	麵類											
	パン・菓子											
	加工食品											
	その他											
	「その他」の内容を記載⇒											
計			0.5	0.5								0.5
工業用	染料・顔料											
	化学薬品											
	皮革											
	油脂											
	イオン交換剤											
	その他											
	「その他」の内容を記載⇒											
	計											
ソーダ工業用												
融氷雪用												
その他	家畜用											
	医薬用											
	その他の											
	「その他」の内容を記載⇒											
計												
合計			0.5	0.5								0.5

※ 記載要領で各区分に含まれる品物を例示していますので、ご参照ください。

1トン=1,000kg。小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載。40kgの場合は0.0 (40kg=0.04トン→小数点以下第2位を四捨五入→0.0) 、50kgの場合は0.1となります。

別紙様式3の「自己使用見込数量」と同じ数になっているか確認してください。

<記載例>

令和7年12月1日

令和8年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

関税有税品（関税を支払う塩）、関税無税品（関税がかからない塩）のどちらかを記載。【注】有税品、無税品ともに扱っている場合はそれぞれについてシートを作成し、総計シートも作成（合計3シート作成。報告様式エクセルファイル参照。）

1. 令和7年度一定販売実績見込数量等報告書

[種類：関税有税品]

エクセル入力の注意事項

黄色セルのみ入力。シートは削除しないでください。数量ゼロは空欄

関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名

株式会社カスタム

（単位：トン）

科目	原産国	イタリア	合計
6年度末在庫数量	1	7.2	7.2
7年度受入実績見込数量	2	13.0	13.0
7年度販売実績見込数量	塩卸売業者への販売分 塩製造業者への販売分 塩事業センターへの販売分		
	一般消費者（生活用）	8.4	8.4
⇒内訳を別紙様式3付表3へ	消費者への販売分（小売店への販売分を含む）	2.5	2.5
	業務用消費者		
	食品工業用		
	工業用		
	ソーダ工業用		
	融氷雪用	0.0	0.0
	その他の	0.5	0.5
	計	11.4	11.4
	輸出		
その他	減耗		
	その他の		
	「その他」の内容を記載⇒		
	合計	3 11.4	11.4
7年度自己使用見込数量	⇒内訳を別紙様式3付表3へ	4	
7年度末在庫見込数量		8.8	8.8

（備考）1. 種類は、「関税有税品」（例：精製塩等）、「関税無税品」（例：原塩等）及び「総計」ごとに別葉とする。

2. トン未満はすべて小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載すること。

3. 「消費者への販売分」又は「7年度自己使用見込数量」がある場合は、付表3にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

「消費者への販売分を
について記載する場合。」

<記載例>

令和8年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

2. 令和7年度用途別販売実績見込数量内訳

消費者への販売分（小売店への販売を含む）
7年度自己使用見込数量

登録番号 東京税関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名 株式会社カスタム

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式3付表2と同様とすること。

(単位：トン)

原産国	イタリア									合計		
種類	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計	関税有税品	関税無税品	合計
生 活 用	8.4		8.4							8.4		8.4
食品工業用	漬物											
	みそ											
	醤油アミノ酸											
	水産											
	調味											
	麺類											
	パン・菓子											
	加工食品	2.5		2.5						2.5		2.5
	その他の											
	計	2.5		2.5						2.5		2.5
工業用	染料・顔料											
	化学薬品											
	皮革											
	油脂											
	イオン交換剤											
	その他の											
「その他」の内容を記載⇒												
計												
ソーダ工業用												
融冰雪用			0.0		0.0					0.0		0.0
その他	家畜用											
	医薬用											
	その他の	0.5								0.5		0.5
	「その他」の内容を記載⇒	お清め用		0.0								
計			0.5		0.5					0.5		0.5
合計			11.4		11.4					11.4		11.4

※ 記載要領で各区分に含まれる品物を
例示していますので、ご参照ください。

別紙様式3付表2（食品工業用）と同じ数
になっているか確認してください。

別紙様式3付表2（融雪用）と同じ数
になっているか確認してください。

別紙様式3付表2の（その他）と同じ数にな
っているか確認してください。

別紙様式3付表2の「消費者（小売店）への販
売分」の計と同じ数になっているか確認して
ください。

<記載例>

「自己使用見込数量」について記載する場合。

令和8年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

2. 令和7年度用途別販売実績見込数量内訳

消費者への販売分（小売店への販売を含む）

7年自己使用見込数量

登録番号 東京税関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名 株式会社カスタム

※表題のチェック欄は、作成する内容に印を付けること。また、数量の記載要領は、別紙様式3付表2と同様とすること。

(単位:トン)

原産国											合計		
種類	類	関税有税品	関税無税品	合計									
生活用													
食品工業用	漬物 みそ 醤油アミノ酸												
	水産調味類												
	麺類												
	パン・菓子												
	加工食品												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
工業用	染料・顔料 化粧品 皮革 油 イオン交換剤												
	その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
ソーダ工業用													
融冰雪用													
その他	家畜用 医薬用 その他												
	「その他」の内容を記載⇒												
	計												
	合計												

別紙様式3付表2の「自己使用数量」合計と同じ数になっているか確認してください。

「数量」：数量にかかわらず記載。

「考えられる要因（傾向）」欄：前年度実績との変動数量に1,000トン以上の増減がある場合に必ず記載。

「8年度見通し」欄：数量にかかわらず記載。該当する項目（増加・横ばい・減少）にチェック、その理由を記載。

令和8年度 塩需給見通し策定に関する分析資料（塩特定販売業者分）

東京 税関長 殿

登録番号 東京税関長第〇〇〇号

塩特定販売業者名 株式会社カスタム

別紙様式3付表2の「令和7年度 塩特定販売実績見込数量等報告書」の記載内容について、令和6年度実績数量と比較して変動が大きい場合、その要因として考えられるものを、ユーザーの動向等具体的な理由を添えて項目別に記入してください。

なお、「6年度実績」欄には、令和6年度塩需給実績のために提出した「6年度 塩販売数量等報告書」に記載したものと同じ数量を記入してください。

(単位：トン)

項目	年度		考えられる要因（傾向）	8年度見通し		
	年度	数量		□増加	□横ばい	<input checked="" type="checkbox"/> 減少
輸入数量について	6年度実績	5.2	顧客の一時的な需要に応えるため (上記理由) 在庫が増えており輸入は減らす予定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7年度実績見込	13.0		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
販売数量について	6年度実績	6.1	顧客の一時的な需要に応えるため (上記理由) 例年並みに落ち着く予定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7年度実績見込	11.4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
うち塩事業センターへの販売分	6年度実績	-	(上記理由)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7年度実績見込	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自己使用数量について	6年度実績	-	(上記理由)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7年度実績見込	-		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
年度末在庫	6年度実績	7.2	顧客の一時的な需要に応えるため (上記理由) 一時的な需要が落ち着き例年並みに回復	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7年度実績見込	3.5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「塩需給見通し報告」についてよくある質問

Q&A（塩特定販売業者）

事業者様からいただいた質問についてQ&A形式にまとめましたので、報告書作成の際参考にしてください。

Q. 「需給見通し報告」調査とは、どのような目的で行われるのですか？

A. 塩事業法は、塩が国民生活に不可欠な代替性のない物資であることに鑑み、塩事業の適切な運営による良質な塩の安定的な供給の確保と我が国塩産業の健全な発展を図ることを目的としています。同法に基づく塩需給見通し報告は、事業者に対して事業活動の目安を示すことなどにより、間接的に塩の需給及び価格の安定を図る目的があります。報告結果は財務省ホームページにおいて公表されます。

Q. この報告なら今年の春頃に報告済みですが？

A. 今年の春を期限として令和6年度中の輸入、販売等実績に基づいた「確定値」の報告をお願いしました。今回は事業者様の予測に基づく令和8年度（令和8年4月～令和9年3月）の「見込み」数量の報告をお願いします。

Q. 塩特定販売業に最近（2025年4月1日以降）登録したばかりです。報告する必要がありますか？

A. 報告が必要です。ただし、前年度以前の数値（「6年度末在庫数値」及び「6年度実績」）については、記載不要です。

Q. 登録番号がわかりません。

A. 登録完了後お渡しした登録済通知書の中ほどにある「東京税関長第〇〇〇号」、また今回郵送で使用した封筒の宛名に登録番号が記載されております。（登録済通知書右上にある「東関第□□□号」ではありませんのでご注意ください。）登録番号が不明の場合は担当までお問い合わせ下さい。

Q. 「塩卸売業者」とはどういう業者ですか？

A. 「塩卸売業者」は塩事業法第2条に規定されています。皆様から買い受けた塩を使用することなく、そのままの状態で他の事業者や消費者に販売する業者です。

Q. 見込（実績）が全くないわけではないが在庫、輸入、販売した塩がそれぞれ全て50キログラムに満たない場合「見込（実績）なし」（空欄での報告）の扱いになりますか？

A. 50キログラムに満たない場合は小数点以下第2位を四捨五入すると0となります。全くないのか50キログラムに満たない数があるのか判断するため見込（実績）がない項目は空欄で報告、50キログラムに満たない実績がある場合には0.0と記載のうえ報告をお願いいたします。

Q. 他社（商社等）が輸入した塩を国内で購入しており、自社で輸入した塩はありません。国内で購入した塩のみを使用している場合、報告は「実績なし」になりますか？

A. そのとおりです、実績なしで報告してください。

Q. 書類が多数ありますが、すべて提出する必要がありますか？

A. 該当する種類の見込み数量等があるものは提出いただく必要があります。例えば別紙様式3及び別紙様式3付表2については関税有税品のみ見込みがある場合には関税無税品、総計については作成不要です。記載要領をご確認の上、作成をお願いいたします。

Q. 報告書はどの順番で作成するのがいいでしょうか？

A. 報告書は、別紙様式3付表2→別紙様式3付表3→別紙様式3→別紙様式3付表1→別紙様式3付表4の順に作業すると作成しやすいと思います。

Q. 塩の在庫も輸入、販売等の見込もありません。どのように報告書を作成すればいいですか？

A. 下記記載例のように、別紙様式3及び付表2に「在庫、輸入、販売、自己使用全て見込みなし」と表示させて提出してください。

実績がない場合の記載例。様式3及び付表2設置のプルダウンリストから「在庫、輸入、販売、自己使用、全て見込みなし」を選択。

別紙様式3

＜記載例＞

令和7年12月1日

記載例		令和8年度 塩販売見込数量等報告書				
東京税関長 殿		登録番号 東京税関長第〇〇〇号 塩特定販売業者名 株式会社カスタム (単位:トン)				
種類:		在庫、輸入、販売、自己使用全て見込みなし				
科目	原産国					合計
7年度末在庫見込数量						
8年度受入見込数量						
8年度販売見込数量	塩卸売業者への販売分 塩製造業者への販売分 塩事業センターへの販売分 消費者への販売分 (小売店への販売も含む) ⇒内訳を別紙様式3付表1～	一般消費者(生活用) 業務用消費者	食品工業用 工業用 ソーダ工業用 融氷雪用 その他	計		
		輸出 減耗 その他 「その他」の内容を記載⇒				
		合計				
8年度自己使用見込数量	⇒内訳を別紙様式3付表1～					
8年度末在庫見込数量						

(備考) 1. 種類は、「関税有税品」(例:精製塩等)、「関税無税品」(例:原塩等)及び「総計」ことに別葉とする。

2. トン未満はすべて小数点以下第2位を四捨五入し、第1位まで記載すること。

3. 「消費者への販売分」又は「8年度自己使用見込数量」がある場合は、別紙様式3付表1にそれぞれ別葉で内訳を記載すること。

Q. 特定販売業者が特殊用塩を輸入・販売等の見込があった場合、どのように報告すればよいですか？

A. 今回の報告では特殊用塩は数量に含めずにご報告をお願いいたします。

(以上)